

第1案の変更点と第2案のコンセプトについて

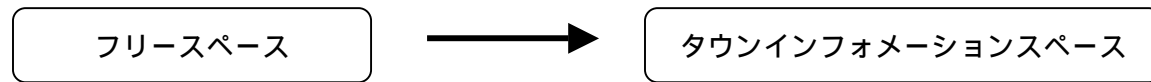
平成17年4月22日
第4回検討懇話会
資料-1

第1案 ... 郷土資料館の機能を含めた公共施設再配置のプラン。
第2案 ... 第1案の対案。郷土資料館の全面移転は行わないが、地域資源の情報発信、展示機能を強化した場合の公共施設再配置のプラン。

1. 第1案の変更点（再検討部分）

1) 地下1階のコンセプトの再整理

地下1階に配置する機能のレイアウトのコンセプト及び、施設のイメージの再整理を行う。



郷土資料館との動線的、機能的な連続性、一体性を考慮した上で、フリースペースとして用途を限定しない空間を設けるのではなく、タウンインフォメーションスペースとして施設の目的性を明確にし、箕面のまちや観光資源の情報発信機能を持ったレストスペースを設ける。

2) バリアフリー対応の検討

西側エントランス部分のエレベーターの改修

第3回懇話会資料では、1階のエレベーターホールに新たに1階とB1階を結ぶエレベーターを設置する案を提示したが、もう一つの選択肢として、1階～8階をつないでいる既設の乗用エレベーターを改修し、地下1階まで下るすことを検討する。この案は、エレベーター本体をマシンルームレス式に取り替えることで技術的には可能である。但し、既存不適格部分の改修における工事の規模の確認や、それに伴うコスト等の問題を十分にふまえる必要があるため、実施設計の段階で詳細な検討が必要となる。

なお、南側の人荷共用のエレベーターは、バックヤードの運搬用として設置されており、箕面駅に近い北西側を主要なエントランスとして定めると、来客用の階段と非常に離れた位置にある。そのため、バリアフリーに対応した乗用エレベーターとして改修するには、動線的に車イス等での利用がやや不便であると判断し、今回の計画では現状の用途のままでの利用とする。

地下1階のトイレの改修

多数の来客の滞在に対応する規模を確保すると同時に、バリアフリーに対応した多目的トイレを設置することを目的に、地下1階のトイレの改修を検討する。

（なお、2）については第2案と共通の検討課題である）

2. 第2案のコンセプト

1. 地下1階に配置する機能のコンセプト

箕面駅前の立地性を活かした「箕面の顔」としての情報発信機能の付加と、市民活動スペースの集約による、多世代が集い、多目的に使える「交流拠点」の創出。

2. レイアウトのコンセプト

地下1階に配置する各機能に対する、余裕を持ったスペースの確保。
箕面の顔としてのタウンインフォメーションスペースの設置。
必要に応じて市民ギャラリーとの一体的使用が可能な、「フリースペース」の設置。（展示即売会やフリーマーケットなど、多目的に使える空間の確保。）
多目的活動に対応した「サークルルーム」に加え、専門室として「スタジオルーム」を設置。

